広　報　誌

わかたけ

2013. 1
2号
社会福祉法人 宰府福祉会
法人本部事務局
福岡県太宰府市大佐野 761-1
発行責任者：草本武俊
編 集：広報委員会

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、当法人の事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

当法人は、誰もが、それぞれの持っている能力を生かして、お互いに支えあえるように支援し、自立と社会参加を図っていくことを目標としています。そのため「一人ひとりを大切にした適切なサービスを提供する」という理念の具体化に向けて、本年も積極的に取り組んでまいります。

とりわけ、当法人が行っている各施設の機能を生かし、各関係機関との連携を行い、地域において、障害のある人の福祉の充実に努めてまいりたいと考えています。

本年も、このような目標にむけて積極的に取組み、より地域に密着し根ざした事業の展開を推進していきたいと考えていますので、皆様方の更なるご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、
ますますのご健康とご多幸をお祈りいたします。

平成 25 年 1 月　　社会福祉法人 宰府福祉会
理事長　草本　武俊

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、２０１３年における障害者制度改革の基本的方向は、障害者総合支援法（改正障害者自立支援法）の４月施行、さらには通常国会に法案提出が目指される障害者差別禁止法（仮称）の制定へと取り組まれているところです。この障害者制度改革の基本的方向に私達はどう向き合っていくのか、具体的に何をすべきか、それはまずは当法人の５つの基本理念をしっかりと職員一人ひとりが理解し実践することが大切であると思います。

それでは、確認の意味で宰府福祉会の基本理念をここに記します。

１．私たちは、１人ひとりを大切にした適切なサービスを提供します。（人権尊重とサービス提供）
２．私たちは、互いの能力を生かし、支えあうことを大事にします。（自立と共生）
３．私たちは、利用者第一の信念に徹し、業務を通じて地域福祉の推進に努めます。（利用者主体と地域福祉）
４．私たちは、感謝と奉仕のこころを培い、努力向上を旨として誠実に業務を遂行します。（感謝と奉仕と努力向上）
５．私たちは、公正な仕事を通じ、健全な経営を目指します。（健全経営）

この理念に基づき、利用者満足・地域満足・職員満足の三満足の実現に向かって職員一丸となって頑張ってまいりますので皆様方のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。皆様にとりましてより良き年となります様にお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

法人本部事務局長　　藤川　曜子

障害者支援施設　宰府園

新年あけましておめでとうございます。

宰府園は、本年で開設３５周年の節目を迎えます。この大切な時に私たち職員は、創立者の掲げた「一人を大切に」との理念を確認しながら、利用される皆さんのたくさんの笑顔が見られるサービス提供と共に、地域福祉の拠点施設として、地域に住む障害のある方の生命を守り暮らしを支える施設となれるように、職員一同、心新たに力を合わせ努力してまいりたいと思います。

今年も皆様のご指導・ご支援・ご協力をお願い致しますと共に、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念し、新年の挨拶とさせて頂きます。

障害者支援施設　宰府園　　施設長　嘉手納　亨

職員一同、心新たに力を合わせて頑張ります！

障害福祉サービス事業所　やまもも

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

本年も利用者支援のために、より一層尽力をしてまいりますので、昨年同様よろしくお願い致します。

さて、今回は“やまもも”並びにケアホーム“わかたけ寮”“アンダンテ”の職員紹介をしたいと思います。

やまもも職員

草本　深町　小島　酒見　岩橋

岡田　井手　前田

井上　黒葛原　佐藤　甲斐　森

ケアホーム職員(世話人)

“わかたけ寮・さくらホーム”

原尾

山中

伊藤

山本

他４名(夜間支援員)

“アンダンテ”

寺内(秋)　寺内(恵)
平山　山崎

障害者就労支援センター　ゆり工房
共同生活介護事業　春日ホーム

新年あけましておめでとうございます。今年も就労や自立を目指す事業所として、さらに飛躍の年にしたいと職員一同、張り切っています。　よろしくお願いします。がんばるぞー！

【ゆり工房職員】

【春日ホーム職員】

迎春　2013　障害者生活支援センターにじ

エコキャップ運動に参加して７年が経過。
その数実に１４５５ｋｇ！ポリオワクチン約４００名分！！
ボトルキャップを使って作った『にじの四季』です。

一人ひとりが『にじ』のカラーを作っています。
『ぱれっと』の中でチームワークという色を作っています。
今年もチームにじは利用者さんへのきめ細やかなサービスを心がけて頑張っていきます。管理者：松永

就労支援事業　さぽーと春日

『就労支援事業 さぽーと春日』は、今年の４月で６年目を迎えようとしています。障がいのある方の「働きたい！」という思いを、より一層サポートできるように、職員一同、日々試行錯誤しながら初心に帰って取り組んで参りたいと思います。

まだまだ未熟ではありますが、今後とも引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

児童発達支援センター　すみれ園

新しい春が訪れ、すみれ園は１１年目を迎えようとしています。

この１０年は、実に様々な出来事がありました。県からの委託事業である療育支援事業が、一般財源化されたかと思うと、４事業のうちのコーディネーター事業が廃止され３事業だけが残り又、通園では措置時代が終わり、新制度で「契約」の時代になり児童の出席状況に併せて補助金も異なり等ほんとうにめまぐるしい１０年だったように思います。だからこそというわけではありませんが、職員のチームワークや連携も常に問いつづけきた１０年でした。

さて、２０１３年４月で設立準備から１１年（開園１０年目）のすみれ園は、就学前の児童を中心としながらも、子どもの発達支援について、より年齢の幅を拡大していきながら、事業展開できることを志しその為にもいろいろな方々に御指導を受け支えていただきながら、歩幅はゆっくりでも確実にあゆんでいけるよう職員が一つになり精進していきたいと考えております。

蒔いた種が、太宰府のこの町に、小さくても確実に芽生えますように！！　　どうぞこれからもすみれ園をよろしくお願いします。

初春　　すみれ園園長　渡辺裕子

職員一同